

当院は下記の事業に参加しております

記

課題名 日本網膜硝子体学会における網膜硝子体手術・治療情報データベース事業

研究の目的・意義

網膜硝子体手術が全国でどのように行われているかを調査することで、現状の課題を洗い出し、それをどのように改善することができるのかといった将来の医療に向けての提言をしたいと考えております。そのような取り組みの一つとして、日本網膜硝子体学会は施設の枠を超えた全国規模の疾患登録のシステムを確立いたしました。全国の協力施設（国立成育医療研究センターも含まれています）から集められる病気、治療、そしてその効果の情報を集計することにより、将来的にはより負担が少なくよりよい結果をもたらす網膜硝子体手術が実現できるようにと考えています。

研究の方法

当センターにて、倫理審査委員会承認後～2019年までに裂孔原性網膜剥離の診断で手術加療を行った患者さんを対象とし診療カルテから得られた検査の結果を日本網膜硝子体学会に登録し、手術成績などについて検討を行います。新たにお問い合わせすることはありません。

➤ 調査項目

患者さんの性別、年齢、初診日、合併疾患、発症（発見）時期、症状、治療歴、検査結果など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

外部への試料・情報の提供・公表

*情報の提供（登録）について

検査の結果を日本網膜硝子体学会へ登録の際は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの個人情報分担管理者が保管・管理します。

*公表について

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>

研究実施機関

国立成育医療研究センター（責任者：東 範行）

旭川医科大学（責任者：吉田 晃）

大阪医科大学（責任者：池田恒彦）

他 23 機関

お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

責任者： 横井 匡 （眼科）

TEL：03-5494-7120 （内 7671）